

# ダンブあきたの

NO.417 全日本建設交運一般労働組合（略称・建交労）秋田ダンブ支部  
2021年9月6日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29  
TEL018-823-7748 fax018-823-7751  
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp  
一人はみんなのためにみんなは一人のために、一人が一人の仲間をふやそう、労災保険に加入しよう  
田中 070 - 5324 - 4053

カマヤん 輪廻 ありむら潜



## ダンブ夏/冬のタイヤ注文

再生タイヤ	22,000円 (BS)
新品タイヤ	35,000円 (BS・14 プライ)
	37,000円 (BS・16 プライ)
タテミソ	25,000円 (中国・トライアングル)
ゲタヤマ	25,500円 (中国・トライアングル)

消費税・送料込みの価格です。注文の時、メーカー、プライを必ずお知らせください。希望の場所に配達します。配達代は基本無料ですが、場所によっては有料の場合があるので、組合に相談してください。トライアングルは、配達無料。

代金は3回以内で納入します。在庫確認が必要なので、注文の際に組合へ問い合わせてください。廃タイヤの処分を希望する方は、相談してください。

## 任意保険を自動車共済に切替えよう

安くて事故後のサービスも安心です。見積もりをしますので、事務所にまず電話を。

# 痛っ!

秋田市のAさんは、9月1日の朝、砂利店の土場で砂を積み込む前にダンブの荷台の掃除を終えて、はしごをおりようとしたところ、足をふみはずし地面に落ちてしまいました。

落ちるときに、左足のスネをダンブのどこかにぶつけたらしく、皮膚がずりりとむけてしまい 20 針ほどぬうけがを負いました。幸い、骨は折れておらず、入院しなくて済みました。

若い頃は、とっさに飛びおいたり、二本の腕ではしごにつかまり、難をのがれることができましたが、よる年波と体重増加には勝てず、現在自宅近くの整形外科に通院しています。

組合では、ダンブと建設一人親方の労災保険をあつかっています。労災保険は国がおこなっていますので、安心して以下のような給付などを受けることができます。

- 治療費・入院費・薬代⇒ケガが治るまで全額無料。
- 仕事ができない場合⇒仕事ができないと医師が認める期間4日目から休業補償が給付基礎日額の8割支給。
- 障害が残るときや死亡した場合⇒障害の程度や遺族数に応じて一時金または年金が支給。

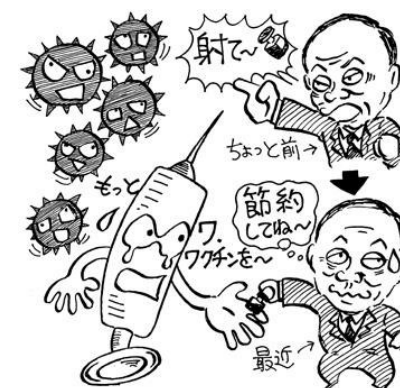
労災保険の中身をくわしく知りたい方、未加入の方は組合事務所にご連絡をください。

# 労災保険に加入していますか



交通安全推進団体の印  
組合のプレートを出して堂々と仕事をしよう

# 組合加入者の紹介を!



野党共闘  
協力して闘えば強力  
なんとかつぶしたい強敵  
市民  
市民

## 五輪だけ特別はずるい

7月下旬、五輪開会式の当日東京を訪れた。翌日に行われる役員を務める全国組織の総会のためだ。たそがれ時に上野アメ横に立ち寄った。「宣言」中にもかかわらず、日ごろの賑わいだ。飲酒はだめだと思いきや、あちこちの店で酒類を提供。酔いつぶれた若者の姿も目立つ。感染ストップはどこ吹く風だ。

7月末から8月初め、東京都の感染者数はうなぎのぼり、5日連続の3000人超え。感染爆発の可能性が高いと心配の声が上がる。東京都では、自宅やホテル療養、行き先調整中の感染者がすでに1万人を超えたという。ケアできずに重症化、死亡する危険が増大している。

子どもたちの間では「五輪だけ特別はずるい」の声が…。修学旅行、運動会、文化祭等すべて中止で、我慢を強いられている。

菅首相が言い続けた「安心・安全の大会」はすでに破たん。最近は「人流は減少傾向にある」の一点張りだ。これで国民に危機感が伝わると思っているのか。

さて世には「スポーツウォッシング」という言葉があるらしい。政府や権力者が自分たちに都合の悪いことをスポーツの喧騒で洗い流すという意味だ。強引な開催の狙いはまさにこれだ。だが今回は、行き過ぎの商業主義と政治利用にみんなが気付いてしまった。さあ今こそ五輪の今後の在り方を考えようではないか。



飯田光徳 社会福祉法人「野の花福祉会」



核兵器爆撃や核実験の直後に、激しい上昇気流が生じ、放射性物質を含んだ黒い雨が降る。広島への米軍の原爆投下直後に降った黒い雨は、爆風や熱線の被害を受けなかった地域にも降り注ぎ、広範囲に渡り深刻な放射能汚染、さらに健康被害をもたらした。

ところが国は1976年、黒い雨の降った地域のうち、より狭い「大雨地域」だけを被爆者援護の対象区域に決め、とされた地域は援護対象から外れた。大雨地域以外の地域でも黒い雨の健康被害を受けた人々15年に提訴。2020年7月の外でも黒い雨の被害があつたと認められた。2021年7月14日の広島高裁は地裁判決を支持し、国側の控訴を棄却。菅義偉政権は上告を断念し原告84人全員に被爆者健康手帳を交付するとし、同じような事情の人への救済を検討したいと表明した。

高裁判決は内部被ばくによる健康被害の可能性も認めた。長崎を含む「黒い雨」被爆者救済を高裁判決に沿った形で急ぐ必要がある。

### ことばのミニ事典

## 「黒い雨」

「小雨地域」や雨が降っていない除外した。除外された地域で黒は長年、救済を求め続け、20月、広島地裁は国が指定した区ったとして、原告全員を被爆者